

桜蔭俳話会 十月句会 (第三四九回)

平成二十八年十月三十日(日)

大磯の城山公園及び旧吉田邸で吟行。
句会場所は鴨立庵。

- 4点①三陸の浜菊想ふ大磯路 直子
- 3点①旧邸の記憶燃えけり新松子 守
- 3点①振り向けば宰相の世の秋薔薇 明美
- 2点②鴨立の沢の流れや秋深かし ツル子
- 2点①秋の薔薇きのふの雨をとどまらせ ヤエ子
- 2点①秋気満つ檜皮葺きなる兜門 明美
- 2点①秋風に揺れる蜘蛛の巣破れなし 眞壽
- 2点 石仏の薄るる文字や秋寒し ツル子
- 2点 秋蝶の影を落とせし心字池 守
- 2点 吟行や郁子の実の坂かけ下る ヤエ子
- 2点 カナリーヤシ配され秋の心字池 明美
- 2点 晩秋や世界睥睨吉田像 幸
- 1点 秋の風ひらひらと葉落ちもせず かおる
- 1点 天を突く大樹の先の秋の空 ツル子
- 1点 心字池澄めり逆さに映る塔 友子
- 1点 カラス瓜城山庵に造り滝 直子
- 1点 一望の相模灘なり薄紅葉 幸
- 1点 ここよりは鳥獣保護区小鳥来る 守
- 1点 見上げたる七賢堂の秋日影 明美
- 1点 地下水の吹き出でたるや秋の庭 かおる
- 1点 秋の日の葉巻の煙り遠きあり ツル子
- 1点 マリアカラス秋冷の庭香り聞く 直子
- 1点 茶室よりもるる明りや烏瓜 友子
- 1点 島々の雲にとけあふ秋の潮 ヤエ子
- 1点 坂道に黄色く灯す石路の花 眞壽

※ 秋の富士見てゐる杖の翁像 明美

ツワブキとニシキギの葉や野の色なり 幸

- 薄もみじ小洵綾ノ滝小鳥来る 直子
- 秋の空はるかに煙る相模湾 眞壽
- 磯菊のみどりのつばみ多かりし ヤエ子
- 下へ下へ展望台の秋の蝶 友子
- 石垣をつたい歩くよ蔦紅葉 眞壽
- そぞろ寒野球声援広がりぬ かおる

- 大石や乗り継ぐごとし秋あざみ かおる
 - 初冠雪のニュースや富士は雲の影 友子
 - 城山の門建物多き秋の中 幸
 - 水澄みて錦鯉の景目裏にあり 幸
 - 立像の白濁やまず小鳥来る 守
 - 灰色の波頭立つ秋の空 眞壽
 - 葉巻持つ銅像にこやか海桐の実 ヤエ子
 - 秋雨の一滴井戸へ網の蓋 守
 - 吉田郷とべら実の上先を読む 直子
 - 火に負けず古木や健気秋の庭 幸
 - 秋の日や葉巻持ちをり吉田像 かおる
 - 海見つむ像の宰相鳥渡る 友子
 - 城山の潮の香るや石路咲きぬ ツル子
- (不在投句 古野明美)

「事務局からお知らせ」

○第一二三回通信句会作品募集

秋の季語を用いた三句。締切りは十一月十日(木)。すでにお送りしてある葉書で送ってください。

○旭句俳句展に参加

十一月十五日(火)から二十二日(火)、旭区民文化センター(サンハートギャラリー)で行われます。会員の俳句短冊を展示します。

○十一月句会

十一月二十日(日)午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)。

○十二月句会

十二月十八日(日)午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)

○一月句会

一月二十二日(日)午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)